

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	地域福祉の充実		
	施策	1	高齢者福祉		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるように介護予防、認知症ケア、医療と介護・福祉との連携、地域での生活支援を柱に施策を進め、地域包括ケアシステムの構築に努めています。今後、「超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの推進」のため、高齢者を取り巻く環境や地域体制等を検証しながら施策展開を図ります。

2. 令和4年度の実施内容及びその成果



- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関しては、ポピュレーションアプローチ(対象者全体に対しての一次予防)として、地区担当保健師が地域に出向き、健康講話やフレイル予防の啓発を実施しています。また、後期高齢者健診受診者で、低栄養や口腔機能が低下した方を対象に歯科衛生士や管理栄養士による個別支援を実施しました。
- ・単身高齢者及び高齢者のみ世帯の方への配食サービスや軽度生活援助事業等の高齢者福祉サービスを提供し、住み慣れた地域での在宅生活の支援を行いました。
- ・配食ボランティアや地域ささえあい活動など各地域の取組を推進・支援するため、生活支援コーディネーターが研修会や連絡会等を実施するとともに、有償ボランティアにより実施される地域の支え合い事業の担い手育成と充実を図るため、令和4年度においては、生活支援活動者へのフォローアップ研修やその他日常生活支援の担い手となるボランティア等の養成につながる各種研修・講演会を実施しました。
- ・まちじゅう元気!!リーダーフォローアップ研修会を開催しました。フレイル予防に関する実践形式とし、地域で活用してもらうための内容としました。(79人参加)
- ・在宅医療・介護連携推進事業では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、医療、福祉、保健従事者など関係職種が参加する多職種連携研修を実施し、在宅医療の推進とネットワークの構築に努めました。
- ・経済的又は環境的な要因で、在宅での生活が困難な高齢者を養護老人ホーム等に措置し、支援を行いました。
- ・認知症高齢者とその家族への応援者である「認知症サポーター」の養成講座の開催や、認知症高齢者やその家族が介護サービスを利用する際に参考となる、名張市小規模多機能事業所一覧作成を作成、配布を行いました。また、令和3年度に作成した認知症についての理解促進や社会資源の紹介をする「認知症ケアパス」の認知症予防編をさらに充実する内容に改訂し、認知症への不安を抱える方の早期相談や早期対応に繋げています。
- ・認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することで、認知症の人ができる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられることができるよう、平成29年1月から認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに設置しています。
- ・高齢者の生きがいや社会参加、閉じこもり防止、認知症予防を促進することを目的とする老人クラブの取組を支援するため、補助金等の交付を行いました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	80.5	0.0%
	成果	78.1	77.9	78.0	79.8	75.8	75.2	
地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことのある65歳以上の市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	80.0	0.0%
	成果	70.4	69.4	71.7	70.9	70.4	63.5	
認知症サポーター養成数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	10,000	100.0%
	成果	8,433	9,503	10,736	11,195	11,354	12,399	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・施策指標である市民意識調査の結果については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域での社会活動等が中止・縮小されるという状況が続く、人と人の交流の制限や地域活動再開に向けてのモチベーションが減退したこと等の影響から、令和2年度から年々割合が減少する結果となっています。高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯が増加する中、移動手段の確保の問題や、身元保証人がいないことからアパートの入居や施設入所が困難となるなど、住み慣れた地域で生活を継続していくための支援体制の構築が課題となっています。
- ・地域の支えあい事業では、市内15地域においても生活環境や人口動態など地域の特性がある中で、担い手の確保や未実施地域の取組促進が課題となっています。
- ・まちじゅう元気!!リーダーの活動に地域差があることや、リーダーの高齢化もあり、地域で活動できる体制づくりが課題となっています。
- ・在宅医療・介護連携の推進には、市民への啓発や実務従事者のスキルや意欲の向上を一層図っていく必要があります。
- ・認知症に対するさらなる理解と地域での居場所づくりが求められています。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容（令和5年度以降）



- ・第9期高齢者保健福祉計画に基づき、高齢者福祉サービスを引き続き実施します。また、第10期高齢者保健福祉計画（令和6年度～令和8年度）策定にあたり、高齢者福祉サービス等必要な施策の見直し、検討を行います。
- ・現在の地域支えあい事業が継続して実施できるよう、支援体制や事業の在り方の調査研究を進めるとともに、未実施地域での立上げ支援や既に取り組んでいる地域への運営支援を行っていきます。
- ・地域において健康づくりや介護予防の取組を推進する、まちじゅう元気!!リーダーの人材育成と活動内容の支援に取り組みます。
- ・限りある地域の医療資源を効果的に活用するとともに、地域医療、介護、福祉関係者の連携を強化し、在宅医療患者とその家族を総合的に支援する地域包括ケアシステムのさらなる充実に努めます。
- ・認知症に対する理解、また家族や周辺者への理解を深めるため、サポーター養成講座の実施と認知症の方、家族、支援者、地域住民が集える認知症カフェの設置に引き続き取り組みます。
- ・老人福祉センター「ふれあい」について、現在の利用状況や施設設備の改修・維持管理等に係る公費負担などを考慮しながら在り方の検討を進めます。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち一般財源
一般	養護老人ホーム運営事業補助金	福祉子ども部	介護・高齢支援室	市内にある養護老人ホームに対して補助金を交付し、高齢者虐待等を理由として緊急やむを得ない事情による入所措置対応を行いました。	1,883	1,883
一般	成年後見制度利用促進事業	福祉子ども部	介護・高齢支援室・地域包括支援センター	伊賀地域において広域的に体制構築を行うために伊賀市と共同して伊賀市社会福祉協議会へ委託して、伊賀地域福祉サポートセンターを運営し、高齢者やその関係者に成年後見制度等に関する相談・助言、情報提供等の支援を行いました。	4,583	3,083
一般	高齢者施設等物価高騰対策支援事業	福祉子ども部	介護・高齢支援室	物価等高騰の影響を受ける中、高齢者施設及び事業所の光熱費、食事代、ガソリン代を57法人に補助することにより、介護サービス等の質の確保と継続的な提供を行い、コロナ禍の高齢者の生活の安定に取り組みました。	28,673	0
一般	軽度生活援助事業	福祉子ども部	介護・高齢支援室	在宅生活を継続するため、軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者の世帯等を対象に家事及び軽作業等の援助を行いました。 ・登録者数 637人	4,254	2,320
一般	老人クラブ助成補助金	福祉子ども部	介護・高齢支援室	単位老人クラブ（32団体）及び名張市老人クラブ連合会の活動に対し、活動費用の一部を助成しました。	1,605	911
一般	養護老人ホーム措置費	福祉子ども部	介護・高齢支援室	老人福祉法に基づき、経済的及び環境的理由により養護が必要な高齢者又は、やむを得ない事由等により自宅で生活することが困難な高齢者に対して養護老人ホームへの入所措置を行いました。 ・被措置者 市内施設39人、市外施設5人	127,119	105,041
一般	権利擁護事業	福祉子ども部	地域包括支援センター	成年後見制度の活用促進、虐待防止、消費者被害防止に取り組み、地域において高齢者が尊厳ある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行いました。	5,908	1,137
一般	一般介護予防事業	福祉子ども部	地域包括支援センター	名張市社会福祉協議会への委託により、介護予防ボランティアに対し、次の事業を行いました。 ・介護予防に関する知識の普及啓発 ・介護予防に関する講演会や相談会の実施 ・介護予防に係る運動等に関する教室の活動支援	16,540	4,628
一般	生活支援体制整備事業	福祉子ども部	地域包括支援センター	多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図るため、名張市社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを配置し、事業の委託を行いました。また、地域の社会資源をデータベースに集約し、市民向けにインターネット上で公開する地域資源情報共有システム（なばリンク）の運営・管理を行いました。	4,891	942